

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：ココファン・ナーサリー日吉本町	種別：認可保育所
代表者氏名：石橋恭子	定員（利用人数）：90名
所在地：横浜市港北区日吉本町3丁目23-15	
TEL：045-560-2331	ホームページ： https://nursery.cocofump.co.jp/nursery_school/hiyoshihonchou/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社学研ココファン・ナーサリー	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：14名
専門職員	（看護師）1名
	（保育士）16名
	（栄養士）3名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室 事務室 厨房 更衣・休憩室 園庭 砂場 空調設備、厨房設備、沐浴設備

③理念・基本方針

すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。

- ①子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援
- ②子ども一人ひとりの認知・発達に応じた個別の発達支援
- ③地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援

④施設・事業所の特徴的な取組

横浜市営地下鉄グリーンライン日吉本町駅より徒歩7分の静かな住宅街に位置しています。学研ココファン・ナーサリー独自の保育プログラムをもとに、子ども達の発達に合わせた保育を行っています。年少（3歳児）から英語（月2回）、年中（4歳児）から「もじかずランド」（ひらがなや数字を学ぶ）、年長（5歳児）は「スポーツチャンバラ」（チャンバラを通して強い体と心を育てる）を学んでいます。すべて遊びながら学べるように工夫されています。クリスマスやこどもの日、ひな祭りなどの行事では由来を説明し行事にちなんだ食事を出しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年9月6日（契約日）～2021年2月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・新型コロナウイルスに負けない体づくり・新しい生活様式に取り組んでいます
新型コロナウイルス感染予防に取り組んでいます。職員に研修・実践講習を行い、感染症予防について新しい生活様式への理解を深めました。子どもに向け、看護師が手洗い、マスク等について紙芝居を用いて説明し、栄養士は食事による体づくりを伝えています。床にラインを引きソーシャルディスタンスを保ち、食事時は透明の衝立を置き食べることに専念するもぐもぐ時間を15分取っています。職員会議で振り返り、子どもの身に付くよう工夫を重ねています。保護者には、登園時の手洗い、うがい、検温のほか、発熱後24時間は安静に過ごすことを伝え、予防策の徹底を図っています。

- ・地域交流と多世代交流を積極的に行っています

地域交流として、絵本の貸し出しや園庭を開放しているほか、子育て支援地域広場に積極的に参加しています。多世代交流として、近くの高齢者施設の高齢者と交流しています。交流計画書・報告書を作成し、定期的を実施しています。高齢者と一緒に折り紙や歌を唄い、糸電話、ビンゴゲーム等で、高齢者と子ども、職員が交流を楽しんでいます。この交流を通して、子どもたちに高齢者を敬う気持ちやいたわりの気持ちを育てています。

◇改善を求められる点

- ・子どもの羞恥心に配慮した環境設定などさらなる取り組みが期待されます

身体測定時やプール遊びの際の着替えは、保育室内でカーテンを閉めて行い、子どものプライバシー保護に配慮しています。おむつ交換やパンツのはき替えは室内で行っているということです。例えば、コーナーでパーテーションを使用するなど他の大人の目に入らないような工夫が望まれます。プライバシー保護と併せ、羞恥心に配慮したさらなる取り組みが期待されます。

- ・水害時の指定緊急避難場所について見直しなど速やかな解決が期待されます

今回の第三者評価における利用者（保護者）調査の結果、河川氾濫などによる水害時の避難場所に関する意見が見受けられました。保育園の所在地は市の水ハザードマップによれば洪水浸水想定地域にあることから、現在、区と指定緊急避難場所について話し合っているということです。速やかに解決を図り、保護者の懸念を解消することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度第三者評価を受審致しまして、保育・運営に関わる様々な点や組織における振り返りをする良い機会となりました。

当園は第三者評価受審二回目となります。とはいえ、受審経験者が多くなく、全職員で「第三者評価」に一から取り組み共通理解を図ってきました。会議や勉強会を何回も行い、「自園の保育」とは、「子ども主体の保育」とは、色んな角度から考えていきました。そこで気づきや反省、改善と保育の質の向上に向けて、意識向上に努めて参りました。

この機会に、利用者アンケートを通じて貴重なご意見を頂きました保護者の皆様には、ご協力頂きましたことに心から感謝致します。ありがとうございました。ご意見やご要望を真摯に受け止め、努力して取り組んで参りたいと思います。

またお褒め頂いた評価は、職員が認められたことで大変自信に繋がりました。

これからも皆様に安心して利用して頂ける、地域に根付いた保育・運営を行って参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2、3のとおり